



ぽっかぽか

りすぐみ



早いもので、今年も残すこと後一か月となりました！長久保公園の木々も、赤や黄色の落ち葉もすっかり落ちてしまいい冬支度という感じです。子ども達は色々な落ち葉や花びらを拾ったり、集めて上からヒラヒラ落ちるのを喜んで見たり、自然に触れてみんなにこにこと楽しそうです。

寒い日も「外行く！」と上着を着て元気に外へ飛び出しているりす組さん。冬の自然も楽しさを感じられるように遊んでいきたいと思います。

♪りす組でうたっているわらべうたをご紹介します♪

お部屋ではよくわらべ歌や手遊び、季節の歌などを歌って楽しんでいます！りす組のみんなはわらべ歌が大好きです！！今回は、りす組のみんなが大好きな「いもやのおじさん」と「うえからしたから」をご紹介します。

大人と子どもがスキンシップをしながら手足を使って遊ぶわらべ歌、【あそばせうた】です！

遊び方の基本は、大人と子どもが1対1で、大人が子どもに対してしぐさや動作をすることです。

子どもと向かい合うときは顔を見て目を合わせ、同じ方向を向いて行うときは、子どもの反応を観ることを意識すると一緒に歌う楽しさが味わえます♪

いもやのおじさん



子どもの片手を左手に乗せて、右手で手のひらや腕に触れていくふれあい遊びです。

- ① 4回手のひらを叩いてから、包丁のように手を横にしてトントントンと3回手首から肘に向けて上がっていく。
- ② 手のひらを1回叩いてから、親指の付け根あたりをつねる。
- ③ 鼻先を指でちょんちょんと突く。
- ④ 2本指で歩くように手首から肩まで駆け上がり下りてくる。(園では「かいだんのぼっておりてきて」と歌っています)
- ⑤ 子どもの手のひらを下向きにして手首から脇まで下側から2本指で駆け上がり、脇の下をくすぐる。

大きめのハンカチを使い歌のリズムに合わせて上下に振りながら歌います。2, 3回繰り返して歌い、最後に上に布を頭に被せて「いないいないばあ」をして、楽しんでいます♪

うえからしたから



どうしてわらべ歌を歌っているの？

わらべ歌は、子どもたちが遊びや生活の中で昔から歌い継がれてきた子どもたちの為のうた遊びです。子どもたちが見た物や感じたことが歌に込められています。メロディーも簡単に覚えやすく、自然に歌うことができるように作られています。また、わらべ歌は歌いながら大人と子どもがスキンシップをとることで安心感と絆を深めることもできます。一緒に体を動かすことでリズム感を養ったり日常生活の中で使う言葉が出てくるので、遊びながら様々な言葉や数を覚えることもできます。これからも色々なわらべ歌を子どもたちと一緒に楽しみたいと思います。子ども会でもいくつか披露する予定ですのでお楽しみに！

